

既存C/Sシステムのアプリ資産を活用しWeb化

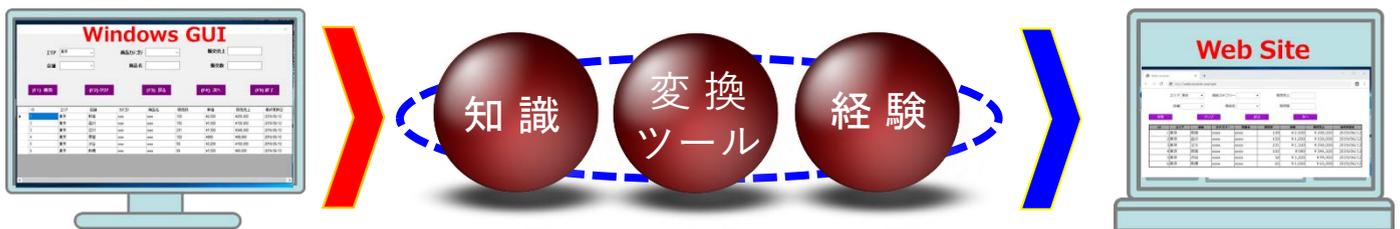
C/Sレガシー Web化マイグレーション

既存C/Sシステム資産の継承とスマートデバイス利用にマイグレーションでWeb化を！



オープンシステム環境で普及したC/S[クライアントサーバ]システムも老朽化にブラックボックス化が進み、再構築の機運も高まっています。全て1から作り直すと高額な開発コストと時間がかかります。C/Sシステム資産の活用を検討するならば、マイグレーション技術の活用でWindows画面のWeb化も重要な選択肢といえます。

変換ツールの活用でWindowsフォームのWebページ化を実現



< C# から C/SレガシーWeb化マイグレーション適用例 >

Before

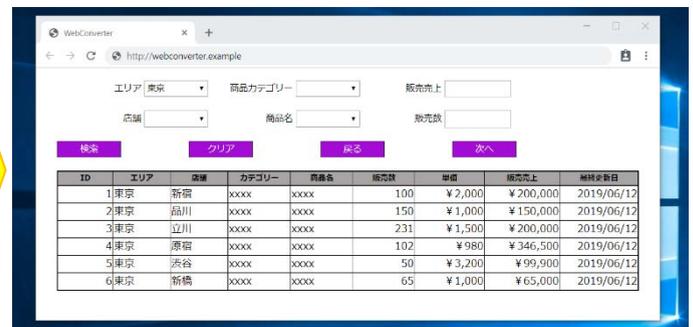
- ・ Windows7のサポート終了が背景に
- ・ デスクトップでしか動作しない

After

- ・ 操作性はそのままWebに移行
- ・ マルチブラウザ、モビリティ対応



旧画面 (イメージ)



新画面 (イメージ)

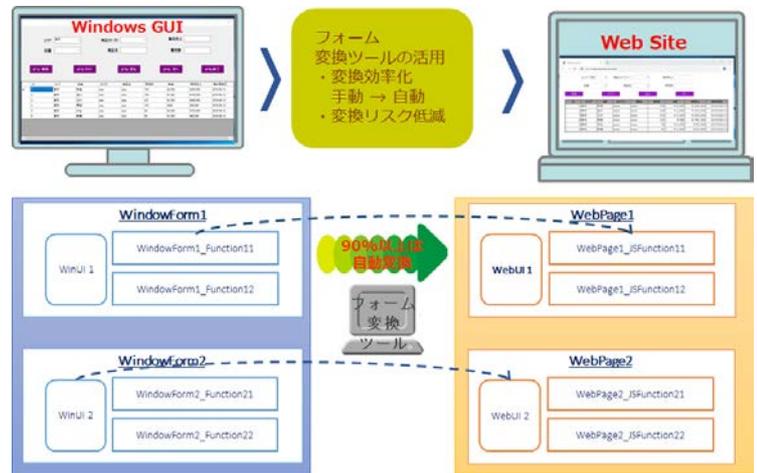
C/SレガシーWeb化マイグレーションの3つの特長

- 特長1** 変換ツールの活用により「自動変換」シェアを高め、変換工程の効率化と変換トラブルリスクを低減。
- 特長2** 既存のプログラムも、フロント側とサーバー側に分けて、Webブラウザで実行されるシステムとして変換、移行。
- 特長3** 長年のホスト系レガシーマイグレーションの経験で培った、リスク管理・品質確保工程に準拠

特長1 変換ツールの最大活用による開生産性の向上

マイグレーション 変換ツールによる「フォーム コンバージョン」を実施し、「手動変換」から「自動変換」のシェアを高めることにより、変換ツール活用による変換業務の効率化と手動変換による変換ミス等リスクの低減を図ります。

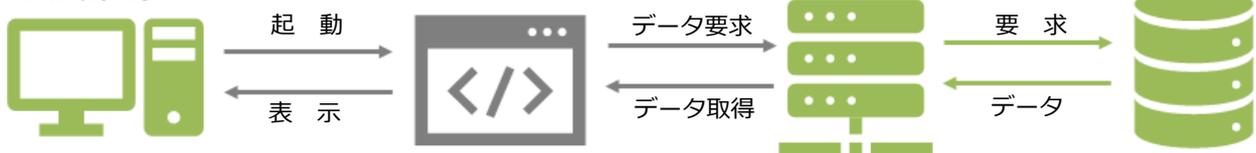
変換ツールは、「汎用ツール」ではなく、移行対象となるシステムのプラットフォーム、言語に応じて開発カスタマイズを実施するため、既存資産の90%以上を自動変換可能にします。



特長2 フォーム変換と同時にロジック部を担うアプリケーションの変換も実施

既存アプリケーション資産はそのまま、既存画面のみ単に「Web画面」する「リインターフェース」や「ラッピング」といった手法ではなく、ロジックとして動作している既存のアプリ資産（ソースコード）をフロント側のプログラムとサーバー側のプログラムに分けて、Webブラウザで実行されるシステムに変換、移行を行います。

Windows



Web



特長3 マイグレーションの品質確保プロジェクト工程に準拠

ホスト系レガシーマイグレーションの経験で培った、リスク管理と品質確保工程に準拠しプロジェクトを推進します。

新規開発と同様に、「設計」～「製造」～「テスト」工程を実施し、単なる「ツール変換」だけに留まらない 移行プロジェクトとして、リスク管理と品質確保を徹底します。



マイグレーションプロバイダ システムズは、「VBマイグレーション」だけでなく、C/SレガシーシステムのWeb化マイグレーションで、老朽化が進むオープンレガシーシステム資産の有効活用をお手伝いします。

[資料請求とお問い合わせ]

株式会社 **システムズ**

東京都品川区西五反田7-24-5 西五反田102ビル8F TEL 03-3493-0032 FAX 03-3493-2033
URL <https://www.migration.jp/> E-mail : migration@systems-inc.co.jp

●本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
●本紙に掲載されている内容は、2019年10月現在のものです。また、内容は改善のため予告なく変更することがあります。